



ミス日本コンテスト受賞者



平成27年1月26日に東京都新宿区内のホテルで開催された「第47回ミス日本コンテスト大会」最終選考において、新たに創設された「ミス日本みどりの女神」に、東京農業大学3年の佐野加奈さんが選ばれました。

佐野さんは、静岡県富士市の出身。富士山を見て、おいしい水を飲んで育ちました。

小学生から始めたソフトテニスでは、高校生の時に東海地区大会の代表になったこともあるそう。大学では、食糧環境経済を専攻し、食の大切さを学んでいます。

また、フードアナリストの資格を取得する中で、木の器やスプーンを使うことで木の温かみを感じたそうです。また、実家から持ってきた木製棚を愛用しており、大切に使用しているそうです。今後の森林・林業のPRに活躍が期待されます。



初代「ミス日本みどりの女神」は農大生！

みどりの広報大使に任命！

国土の約7割が森林である日本は、世界有数の森林国です。今日までに時代を超えて営々と守り、育てられた森林の大切さや、そこで培われてきた木の文化を守り、伝えることが大切です。そこに皆様の森林に期待する役割を加味しながら、緑や木の重要性を幅広く社会に発信する取り組みが重要になっていきます。

この取り組みを一層推進するため、農林水産大臣

から「ミス日本みどりの女神」に対して、「みどりの広報大使」の任命状の授与を行いました。林野庁や林業関係団体等の出演など、今後の活躍が期待されます。

森林の役割に驚き！

佐野さんが2月から多数の林業関係団体を表敬して感じたことは、国土の保全、治山、木材生産、木づかい、特用林産、林業機械、レクリエーションの場としての活用、国際緑化、木育、こけしや漆器等

の伝統文化など、森林には私たちの生活に欠かせない多様な役割があることを知り、驚いたそうです。こんなにすばらしい役割がある森林・林業のことや、木のことを皆様にもっと知ってもらいたいと強く思ったということです。

活動報告をお楽しみに！

これから1年間、森林・林業などの作業現場やイベントでの活動を通じ、体験して感じたことを皆様にご報告します。



林業の現場について勉強(全国森林組合連合会)



木材の利用について勉強(全国木材組合連合会)



木炭の現状を勉強(全国燃料協会)

